

1番力ボチヤは重量70キ

ジャンボカボチャ
コンテスト

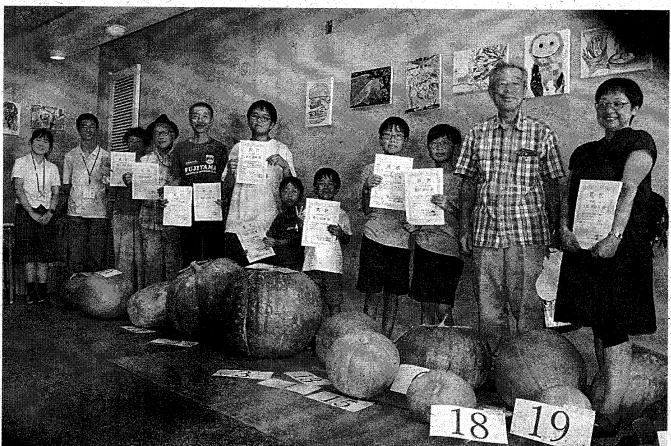
各部門の優勝者表彰

（勝亦海吏会頭）が主催する、耕作放棄地等でマスマス元肥（げんひ）を使って栽培したカボチャの重量等を競う「ジャンボカボチャコンテスト」の表彰式が18日、富士宮市西町の西町レトロ館で開かれた。優勝したのは未就学部門で高野天翼さん、小学生部門は篠原琉土さん、中学生部門は森方浩輝さん、一般部門は大橋美佐子さ

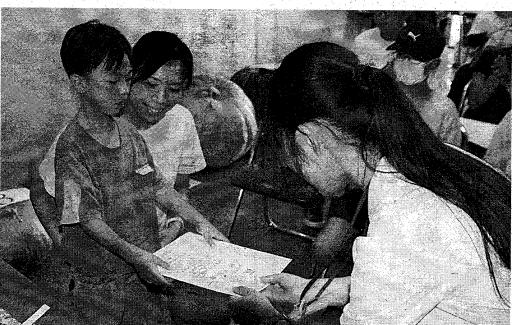
ん。出席者全員に2年生リーダーの杉山茉奈さんから表彰状が授与された。

同会議所は、「ジマスの残渣(ざんさ)」と朝霧牛の糞(ふん)で作ったSDGs実践たい肥「マスマス元肥」を使い、耕作放棄地の有効活用を図り、地産地消、安心安全な野菜作り、果樹・草花栽培を推進し、新たな農産物の創出による持続可能な社会づくりを目指している。

今回は「マスマス元肥を使って耕作放棄地をよみがえらせよう!!プロジェクト第2弾」で、富士宮市内在住の15人からズッシりとし



入賞した皆さん



各部門の優勝者に賞状授与

マスマスマ元肥で楽しみなが集地を有効活用後も継続し、とチャレンジ本物のカボチワインを葉と思う」と話した。

務局長の時田定則さん)まで連絡を。上位入賞者は次の皆さん。

◇未就学部門

①高野天獎(4歳、
5年、17・85才) ②篠原琉士(上野小
原綾汰(同3年、12・
1才) ③森方浩雅(富
士根南小1年、5・
5才)

◆中学生部門
①森方浩輝（富士根
南中1年、9・05キロ）
◇一般部門
①大橋美佐子（70・
05キロ）②南条の里農地
保存会・赤池公孝（66・
3キロ）③諏訪部和宏